

太宰府市俳句ポスト第九十八回入選者

(平成三十年二月七日〜平成三十年五月七日)

選者 阿比留 初見

入選句

梅が香にひたと閉ざされたる社務所

(小郡市)

斉田 日奈江

史蹟野の春爛漫に誘はれ

(北九州市)

元田 品子

しやぼん玉飛ばす児追ふ児追はるる児

(福岡市)

梶原 敏子

春愁やほどよき距離といふものの

(筑紫野市)

馬場 三知子

降る雨も遠慮勝ちなる梅まつり

(福岡市)

下原口 允子

また一つ音足してゐる落椿

(大野城市)

北 嘉与子

鈴ならず人なき撰社春時雨

(福津市)

柴田 佳津子

風音に雨の兆しや二月尽

(太宰府市)

白石 照子

狛犬に我が春愁を見透かされ

(福岡市)

山口 裕子

水城野の色とし親し金鳳華

(太宰府市)

榊原 瞳

きざはしを降り紅梅に歩み寄る

(朝倉市)

古賀 紀子

園児らの笑顔と桜天満宮

(福岡市)

渡辺 裕子

二月尽耳の欠けたる狛狐

(太宰府市)

脇山 郡司

生憎の雨にも人は飛梅に

(那珂川町)

池田 ひさ絵

だれも居ぬ山の図書館春暖炉

(太宰府市)

金丸 恵子

だざいふはさくらきれいでいいところ

(千葉県)

ほし ゆい 八才

だざいふはたのしいひろばうめのはな

(福岡市)

井上 稟 八才

風さんが運んでくるよ梅の花

(春日市)

村上 愛実 十一才

ふくらむよ夢と希望と梅の花

(大野城市)

城代 胡桃 十二才

春風や私をつつむ和の心

(大牟田市)

長野 航己 十五才